



ほけんだより 9月



令和7年9月 白鳥保育園 看護師

ご家庭での事故やケガへの注意は万全でしょうか??

子ども達は好奇心旺盛で怖いもの知らず。危険を予測する力はまだ十分でないため、大人が安全な環境を整えてあげましょう。

転んで、落ちて…… 頭を打った ときのケア

すぐ病院に!



一つでも当てはまる場合

- 繰り返し吐く
- 意識がもうろうとして、呼びかけても反応しない
- 手足の動きがいつもとちがう、左右差がある
- 目の瞳孔の大きさが左右でちがう
- 打ったところが陥没している、出血がひどい

左の項目に当てはまらないときは次の点を守って、数日間は注意して様子を見ましょう。



●当日はおふろに入らず、静かに過ごせる頭蓋内で出血していた場合、入浴して血行がよくなることで症状が進みます。

●症状が出てきたらすぐに受診する

●夜寝ているときの様子もチェックする

●睡眠中に意識障害を起こす可能性もあるので、寝返りを打つか、声をかけたら反応するかなどを見ます。

- 少しづつ顔色が悪くなる
- 吐き気が出る、吐く
- 手足の動きがおかしい、ピクピクする
- 意識を失う、呼びかけても起きない

8月の感染症

インフルエンザA(本園1名 分園3名)

新型コロナウイルス(本園2名 分園1名)

りんご病(本園8名 分園1名) ウイルス性胃腸炎(本園1名 分園1名)

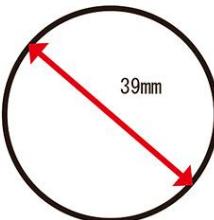
溶連菌(分園1名)

溶連菌+新型コロナウイルス(本園1名)

家の中の事故を防ぎましょう

0~6歳の子ども達の事故のおよそ40%は家の中で起きています。

家の中には事故の危険性が高いものや状況が、実はたくさんあります。家の中で安全・安心に過ごせるように、今一度チェックをしてみましょう。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナツツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファーやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどの多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などに上って手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。